

生駒市が示した構想に対して

〔 質問 〕

- ・ 教員配置や施設、スケジュール等、具体像を示して説明して欲しい。（同趣旨他 8 件）
→ 教員配置や施設、スケジュール等は、実施が決まった後に提案します。懇話会のご意見を受け、第 5 回懇話会で「[生駒北小中一貫教育のイメージ](#)」を提案しました。

- ・ 施設一体型といいながら、北小北中の名称は残すと、連携型なのかどちらなのか混乱している。

→ 一体的に運営し、〇〇小中学校や〇〇学園という通称名を付ける場合もあります。正式名称は、小学校は生駒市立生駒北小学校、中学校は生駒市立生駒北中学校のまま変わりません。小学校には小学校の活動があり、6 年生が小学校最高学年として活動する機会もなくなりません。（「[6/5 説明会資料 Q&A](#)」参照）

- ・ 6・3 制、教育課程変更なしなどの理由の説明がほしい。

→ 小学校 6 年間、中学校 3 年間の枠組みは変えません。これは小中一貫校をスタートするにしても今と大きな変更がないほうがスムーズなスタートができるからと考えるからです。また、中学校 1 年生から入学してくる子どもたちに著しい不利益にならないよう配慮する必要もあります。小中一貫校としてスタートした後、学校の指導体制や児童生徒の実態を教員がよく把握したうえで話し合い、特色ある、魅力ある学校づくりを無理なく進めていくことが可能になります。

日本の学校制度では小学校は 6 年間、中学校 3 年間で今のところ変えようがありません。その中で、指導のまとまりを 4 学年 3 学年 2 学年としている例があります。小学校 6 年間中学校 3 年間を変更することはできないわけですから意図的な指導の段階をこう分けているということになります。

学習内容も日本全国、学習指導要領に基づいて指導することが決められていますから、小中一貫校になったからと言って大きな変更はできません。原則として今までどおりの指導をすることが無理なく小中一貫校をスタートさせることになると考えています。そのうえでやはり、学校の体制や児童生徒の実態を把握したうえで、特色ある、また魅力ある教育活動を計画することができます。

たとえば、生駒北中学校は通常 1 年生が毎年のように奈良先端大を訪問して先端科学をテーマとした授業を先端大の先生から受けています。さらに生駒北小学校で茶筌作りをしている人を見て人物画を描く授業をしたり、生駒北中学校で茶筌作りを体験したりする授業が取り入れられたりしています。いずれも生駒北中学校区の地域性を生かした教育活動として発展させていくことができ、学校としての特色にもなると考えます。

- ・ 児童数が少なくなるから専門の先生から指導が受けられなくなるなど不安になるような

言葉があったが、必要な教育を奪わないようにしてほしい。

→学級数や教員数は子どもの数で決まっています。今後、学級数が減少すれば県から配置される教員数は、小学校では学級担任と校長、教頭、養護教諭だけになります。現在も小学校 30 人学級、35 人学級の他に、小規模校であることを考慮して、中学校の教科補充など、市で独自に教員を配置しています。

〔 意見 〕

- ・前回より前向きに対応してもらっているのが分かり、よかった。子どものためによりよい学校づくりをしてほしい。
- ・地元や保護者の意見を聞きながら進めていこうとしている。今後の広がりが期待できる。
- ・昔のようにどこの孫であるか分かってもらえるような、あたたかい教育環境にして欲しい。

小中一貫校設置について

〔 質問 〕

- ・保護者の意見も出していきたい、保護者等の意見も活かして欲しい。(同趣旨他 4 件)
→説明会や懇話会等を通じて保護者の意見を十分聞いていきます。
- ・一貫教育を実施するかどうかの判断に、懇話会の議論の結果はどのように扱われるのか。
→市で決定する際には懇話会の議論の結果を十分に尊重していきます。(第 1 回懇話会議事録参照)
- ・「10 月までには」というのは、目標であって、融通のきく期限にしてほしい。
→高山幼稚園の耐震化に際し、建て替えてこども園とする計画をしています。小中一貫校の方向性により用地等が関わってくるため、次年度の予算や計画が具体化する 10 月には一定の方向性を出していきたいと思います。
- ・小中一貫を実施しない場合は、上中に併合されてしまうのか。(同趣旨他 1 件)
→その予定はありません。
- ・近い学校と統合した方が、子どもにはプラスになる事が多いのではないかと。
→上中に統合するという意見についても懇話会で検討いただいています。市としては、将来像も踏まえ、登下校の安全面などの課題を総合的に判断して、北小、北中にとって今回の提案が最善と考えて提案しています。
- ・現状のままでの 2 クラス制に賛成である。少人数をメリットにすればよい。クラブ活動も、小学生と合同で出来るようにしてほしい。
→県や市の定数に基づきクラス編成をします。子どもの数が少なくなれば、1 学年 1 クラス編成になります。
施設一体型の場合は、部活動を小学生と合同で実施しやすくなります。

〔 意見 〕

- ・ 早く決定して、準備に十二分な時間をつくり、具体案を検討して欲しい。(同趣旨他 1 件)
- ・ 小中一貫校ではなく別々の方がいいと思う。
- ・ 小中一貫校が子どもにとって良いなら、チャレンジしてみたい。(同趣旨他 6 件)
- ・ 子どもが少なくなっている現状を考えると小中一貫校設置は良いことだと思う。
- ・ 子どもたちの教育を充実させたい。そのために一貫校を設置するならいいのではないか。
- ・ 早く方向性を決めた方がいい。

小中一貫校を設置する場合

〔 質問 〕

- ・ 施設やカリキュラムがどう変わるのか示してほしい。
→施設やカリキュラム等は、実施が決まった後に提案します。懇話会のご意見を受け、第 5 回懇話会で「生駒北小中一貫教育のイメージ」を提案しました。
- ・ 子どもから意見を聞く機会を設けたり説明したりすることも考えてほしい。
→子どもを含め、地域や保護者の幅広い意見を聞いていきます。
- ・ 運動場が狭いと思う。子どもの安全安心面を考え、施設の充実を考えてほしい。(同趣旨他 1 件)
- ・ 小中一貫校を北中の場所にして欲しい。北中の方が土地も広く、運動場も広く使えるのでは。
→小中一貫教育を実施する場合は、要望を受けて適切な設置場所について検討します。
- ・ 部活動の種類を増やして欲しい。他校との交流を増やして欲しい。先生の負担を減らして欲しい。細やかな指導、学力の指導に力を入れて欲しい。
→部活動は小中一貫校にすることで、指導者や参加する子どもの数が増え、より充実すると考えます。情報機器を活用し他校との交流も検討していきます。また、小中学校教員の協働で、先生方の負担軽減、細やかな指導、学力の指導にもつながると考えます。
- ・ 一貫校設置に伴い、教師を一時的に増やして欲しい。
→実施することになれば、教育課程を考える中で、必要に応じて市費講師の配置などについて配慮します。
- ・ 学校だけが新しくなって中身は変わらないようでは困る。
→9年間を一貫した教育課程を編成し、行事や部活動などを小中合同で実施するなど、施設一体型小中一貫校のメリットを生かして充実したものにしていきます。
- ・ 中学校の先生が小学生に英語など指導した場合、中学から入学したら不利ではないか。
→打田高船地区の生徒や転入生があった場合も想定し、入学後に生徒が戸惑うことのないよう配慮します。

- ・小学校入学時の通学区域が広がり、安全面が心配である。また、地域（京田辺）の活動が失われるおそれがある。

→通学区域は現状と変わりませんので、地域（京田辺）の活動には影響ありません。

- ・移行期のまま、受験を迎える学年への負担は考えてくれているのか。

→校舎建て替え工事やそれに伴う移転等について極力負担を軽減するよう配慮します。

[意見]

- ・いいものができるよう、市・地域・保護者で協力したい。
- ・指導力のある先生のもとで小中一貫校を作りたい。是非、一貫校でバリバリやりたいという先生に来てほしい。
- ・活気ある地域のために小中一貫校になればいいなと思う。小4の子どももそう思っている。
- ・施設の充実、学力の向上、学校生活の充実について十分な時間をかけて話し合いたい。
- ・校長先生の話聞いて安心した。親として要望を出していけるようにしたい。

他の行政施策との関わり

[質問]

- ・小中一貫を進めることで地域全体を新しく生まれ変わらせてほしい。
→地域の協力の下、必要なものは担当課と連携して取り組んでいきます。

[意見]

- ・生駒市の北地区に対する行政戦略として、教育水準の高い地区をつくる方針を明確にする必要がある。（同趣旨他3件）
- ・一貫校になるのは良いが、生徒数の減少が気になる。調整区域や校区の見直し等も含め、行政の連携もお願いしたい。（同趣旨他1件）
- ・こども園が不安である。（同趣旨他2件）